



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 ユニチカ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤本 真澄 TEL 06-6281-5721
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	58,029	△1.8	△1,792	—	88	△97.7	△409	—
2023年3月期第2四半期	59,105	6.5	1,514	△55.4	3,887	33.1	2,909	31.4

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 △769百万円（—%） 2023年3月期第2四半期 3,390百万円（4.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△9.55	—
2023年3月期第2四半期	47.83	23.32

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	192,580	42,865	21.4
2023年3月期	190,003	43,918	22.2

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 41,183百万円 2023年3月期 42,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.7	△2,400	—	△1,400	—	△2,200	—	△43.07

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	57,752,343株	2023年3月期	57,752,343株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	96,773株	2023年3月期	96,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	57,655,702株	2023年3月期2Q	57,656,445株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明内容の入手方法について）

当社は、2023年11月22日（水）に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料については、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期（予想）			—	12,000.00	12,000.00
B種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期（予想）			—	23,740.00	23,740.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、自動車生産台数の回復などにより、製造業に持ち直しの傾向が見られたほか、訪日客数の増加に伴い、観光等のサービス需要が堅調に推移しました。その一方で、エネルギーコストの高騰に加え、円安の影響を受けて物価が上昇し、消費マインドの回復にブレーキがかかったこと、また国外においては中国や欧州において消費需要が低迷するなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、2023年5月に新中期経営計画「G-S T E P 3 0 2 n d（ジーステップ・サーティ ～セカンド）」を公表し、新しい中期経営計画の基本方針である、「事業ポートフォリオの再構築」、「グローバル化の推進」、「事業基盤の整備」を骨子とした各施策を推進してまいりました。

こうした中、景況感の悪化等による需要の減少を受け、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比1.8%減収の58,029百万円となりました。

営業利益は、原燃料価格の高止まり、円安によるコストアップ及び販売減少の影響を受け、収益が悪化したことにより、1,792百万円の営業損失（前年同四半期は1,514百万円の利益）となりました。また、円安の進行により外貨建資産の為替評価益を計上した結果、経常利益は同97.7%減益の88百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は409百万円（前年同四半期は2,909百万円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載しております。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、原燃料価格の高止まりに対して価格改定を実施しましたが、多くの用途で販売数量が減少し、これに伴う生産量減少により収益が悪化し、増収減益となりました。

フィルム事業では、包装分野、工業分野ともに販売が減少しました。包装分野では、食品類の販売減の影響を受け、サプライチェーン内で在庫調整が続く中、バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売は伸長しました。工業分野では、半導体減産の影響を受け、関連製品の販売が減少しました。海外において、中国等における景況感の悪化と需要低迷を背景とした販売競争激化の影響を受け、収益が悪化しました。この結果、事業全体で減収減益となりました。

樹脂事業では、自動車の生産台数回復に伴い、自動車部品用途の販売は底を打ちましたが、電気電子部品用途は最終製品の需要が停滞した影響を受け、販売が減少しました。この結果、事業全体で減収減益となりました。

なお、高分子事業セグメントに属する海外販売会社においては、フィルムなどの販売増により増収となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントの売上高は26,021百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益は94百万円（同95.9%減）となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、幅広い用途分野で販売が減少し、原燃料価格の高止まりと、生産量減少によるコストアップが価格改定の効果を上回り、減収減益、営業赤字となりました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途の販売が国内向けでやや減少し、環境分野においても電子部品工場の稼働率低下の影響を受け、販売が減少しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野の販売は堅調でしたが、電子材料分野のICクロスは、半導体の市況低迷の影響を受け、販売が大幅に減少しました。販売減少に伴い自社工場の稼働が減少し、採算が悪化しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途の販売は天候不順を背景とした道路工事減少などの影響を受け減少しました。また、工業用途および反射材用途についてもエンドユーザーの需要減少の影響により販売が減少しました。

不織布事業では、インフラ資材用途の販売は伸長しましたが、フィルターやスキンケア用などの生活資材用途の販売が減少しました。また、原燃料価格高止まりの影響を価格改定でカバーしきれず、収益が悪化しました。

産業繊維事業では、一部の在庫調整局面はありますが、ポリエステル短繊維の販売等が回復しました。原燃料価格の高止まり影響等で収益は悪化しました。

以上の結果、機能資材事業セグメントの売上高は16,493百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業損失は1,416百万円（前年同四半期は134百万円の利益）となりました。

【繊維事業セグメント】

衣料繊維事業では、主力のユニフォーム分野の販売が回復しました。また、サステナブル繊維分野も概ね堅調な販売状況でしたが、産業資材事業とグローバル事業が不調に終わりました。原燃料高や円安などのコストアップに対し、価格改定や、販管費などコスト削減にも努めた結果、採算改善が進み、赤字幅は前年同四半期対比で大幅に縮小しました。

以上の結果、繊維事業セグメントの売上高は15,488百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業損失は445百万円（前年同四半期は906百万円の損失）となりました。

【その他】

その他の事業では、売上高は26百万円（前年同四半期比35.2%減）、営業損失は42百万円（前年同四半期は26百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ2,576百万円増加し、192,580百万円となりました。これは、主として現金及び預金と有形固定資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,629百万円増加し、149,714百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加しましたが、その他流動負債とその他固定負債が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,052百万円減少し、42,865百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の計上がありましたが、棚卸資産の減少などにより、4,902百万円の資金の増加（前年同四半期は51百万円の資金の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う支出などにより、3,134百万円の資金の減少（前年同四半期は4,543百万円の資金の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済がありましたが、セール・アンド・リースバックによる収入により、29百万円の資金の増加（前年同四半期は670百万円の資金の減少）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2,040百万円増加し、11,652百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「営業外収益（為替差益）の計上及び2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,548	12,619
受取手形、売掛金及び契約資産	23,104	23,626
棚卸資産	35,739	34,776
その他	5,506	4,353
貸倒引当金	△53	△54
流動資産合計	74,845	75,321
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	25,996	27,999
土地	62,605	62,730
その他（純額）	19,711	19,490
有形固定資産合計	108,313	110,221
無形固定資産		
その他	2,171	2,174
無形固定資産合計	2,171	2,174
投資その他の資産		
その他	4,783	4,983
貸倒引当金	△110	△120
投資その他の資産合計	4,673	4,862
固定資産合計	115,158	117,258
資産合計	190,003	192,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,269	16,183
短期借入金	4,124	3,095
1年内返済予定の長期借入金	2,643	2,637
未払法人税等	202	370
賞与引当金	1,554	1,537
製品改修引当金	35	35
その他	9,147	11,182
流動負債合計	32,977	35,042
固定負債		
長期借入金	86,671	86,801
退職給付に係る負債	14,375	14,548
その他	12,060	13,321
固定負債合計	113,107	114,671
負債合計	146,085	149,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	11,476	11,476
利益剰余金	27,467	26,774
自己株式	△57	△57
株主資本合計	38,986	38,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544	758
繰延ヘッジ損益	4	9
土地再評価差額金	6,244	6,244
為替換算調整勘定	△3,452	△3,965
退職給付に係る調整累計額	△217	△158
その他の包括利益累計額合計	3,123	2,889
非支配株主持分	1,808	1,682
純資産合計	43,918	42,865
負債純資産合計	190,003	192,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	59,105	58,029
売上原価	46,275	49,090
売上総利益	12,829	8,938
販売費及び一般管理費	11,315	10,731
営業利益又は営業損失(△)	1,514	△1,792
営業外収益		
受取利息	22	27
受取配当金	37	40
持分法による投資利益	—	9
為替差益	2,791	2,354
その他	267	160
営業外収益合計	3,117	2,593
営業外費用		
支払利息	509	486
持分法による投資損失	9	—
その他	225	225
営業外費用合計	744	712
経常利益	3,887	88
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産処分損	452	232
事業構造改善費用	6	75
特別損失合計	458	308
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,429	△209
法人税、住民税及び事業税	508	336
法人税等調整額	28	14
法人税等合計	537	351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,891	△561
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△152
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,909	△409

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,891	△561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	213
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	415	△487
退職給付に係る調整額	123	59
その他の包括利益合計	498	△208
四半期包括利益	3,390	△769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,283	△643
非支配株主に係る四半期包括利益	106	△125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,429	△209
減価償却費	2,522	2,956
事業構造改善費用	6	75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	377	196
製品改修引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
その他の引当金の増減額(△は減少)	△28	△17
支払利息	509	486
為替差損益(△は益)	△2,791	△2,354
固定資産処分損益(△は益)	452	232
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△93	△357
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,356	1,213
仕入債務の増減額(△は減少)	488	664
その他	△586	2,291
小計	919	5,178
利息及び配当金の受取額	59	68
利息の支払額	△516	△511
法人税等の支払額	△410	166
営業活動によるキャッシュ・フロー	51	4,902
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	30	15
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	—	14
有形固定資産の取得による支出	△3,940	△2,706
有形固定資産の売却による収入	0	9
有形固定資産の除却による支出	△304	△177
その他	△323	△283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,543	△3,134
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	△1,223
長期借入れによる収入	46	1,453
長期借入金の返済による支出	△1,371	△1,329
配当金の支払額	△302	△283
セール・アンド・リースバックによる収入	—	1,604
その他	△42	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△670	29
現金及び現金同等物に係る換算差額	575	243
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,586	2,040
現金及び現金同等物の期首残高	18,415	9,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,828	11,652

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,226	17,762	16,075	59,064	41	59,105	—	59,105
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,035	926	68	4,030	—	4,030	△4,030	—
計	28,261	18,689	16,143	63,094	41	63,136	△4,030	59,105
セグメント利益又は損失 (△)	2,301	134	△906	1,529	△26	1,503	10	1,514

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,021	16,493	15,488	58,002	26	58,029	—	58,029
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,561	872	58	3,492	—	3,492	△3,492	—
計	28,582	17,366	15,546	61,495	26	61,522	△3,492	58,029
セグメント利益又は損失 (△)	94	△1,416	△445	△1,767	△42	△1,809	16	△1,792

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、一部の連結子会社の報告セグメントを「高分子事業」から「繊維事業」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法により作成したものを記載しております。

3. 補足資料

①業績及び2024年3月期業績予想（連結）

（百万円）

			売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
連 結	2022/3	年 間	114,713	6,005	6,399	2,223
	2023/3	第2Q	59,105	1,514	3,887	2,909
		年 間	117,942	1,327	1,069	102
	2024/3	第2Q	58,029	△ 1,792	88	△ 409
		年間(予想)	120,000	△ 2,400	△ 1,400	△ 2,200
前年比較	第2Q		△ 1,075	△ 3,307	△ 3,799	△ 3,318
		年 間	2,057	△ 3,727	△ 2,469	△ 2,302

②セグメント情報（連結）

（百万円）

			高分子	機能資材	織 維	その他	調整額	連 結
前年実績	2022/9 (実績)	外部売上高	25,226	17,762	16,075	41	—	59,105
		構成比(%)	42.7	30.1	27.2	0.1	—	100.0
		営業利益	2,301	134	△ 906	△ 26	10	1,514
		構成比(%)	152.0	8.9	△ 59.9	△ 1.7	0.7	100.0
当期実績	2023/9 (実績)	外部売上高	26,021	16,493	15,488	26	—	58,029
		構成比(%)	44.8	28.4	26.7	0.0	—	100.0
		営業利益	94	△ 1,416	△ 445	△ 42	16	△ 1,792
		構成比(%)	△ 5.3	79.0	24.8	2.4	△ 0.9	100.0
前年同期比較		外部売上高	794	△ 1,269	△ 586	△ 14	—	△ 1,075
		増減率(%)	3.2	△ 7.1	△ 3.7	△ 35.2	—	△ 1.8
		営業利益	△ 2,207	△ 1,551	461	△ 16	6	△ 3,307
		増減率(%)	△ 95.9	—	—	—	59.5	—

③設備投資実施額・減価償却費（有形固定資産）・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数（連結）

（百万円、人）

		設備投資 実施額	減 価 償却費	研 究 開発費	有利子 負債(期末)	金 融 収 支	正従業員数 (人)
2022/3	年 間	7,614	4,672	3,601	93,890	△ 1,002	3,037
2022/9	第2Q	3,787	2,140	1,818	93,565	△ 449	3,036
2023/3	年 間	7,641	4,729	3,757	93,440	△ 952	2,944
2023/9	第2Q	3,366	2,654	1,835	92,533	△ 418	2,940

④キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期 末 残 高
2022/3	年 間	8,666	△ 8,989	△ 4,212	18,415
2022/9	第2Q	51	△ 4,543	△ 670	13,828
2023/3	年 間	509	△ 8,092	△ 1,657	9,612
2023/9	第2Q	4,902	△ 3,134	29	11,652